



野女っ子『野田女子高校だより』

第1号 平成23年4月15日(通巻23号)
鹿児島県出水市野田町下名 5454
Tel 0996-84-2074 Fax 84-2161
鹿児島県立野田女子高等学校

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/noda/top.html>

入学おめでとう！

本科第48回入学式

専攻科第41回入学式

正門の桜が満開を迎えた4月7日(木)、本科生99名・専攻科生26名(計125名)が学校長より入学を許可され、野田女子高校の仲間入りをしました。

8日(金)は、上級生との対面式が行われ、新入生からは「新しい学校生活への喜びと不安で胸がいっぱいです」とのあいさつがあり、それに応えて上級生からは、「一日でも早く新しい環境に慣れ、共に努力していきましょう」という歓迎の言葉をいただきました。また、クラス代表が校章・専攻科章を受け取り、真新しい制服の胸元を飾りました。



入学式
新入生代表宣誓



対面式 専攻科
新入生代表挨拶

憂いの春に

校長 祈答院宮子

未曾有の大災害となった東日本大震災から立ち直りの兆しが見えない中での平成23年度のスタートとなりました。皆様にはゆかりのある方々の中に被災された方がいらっしゃるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。生徒会ではいち早く支援のための募金活動を行いました。1回で終わりということではなく、機会を設けて支援活動を続けていきたいものだと考えているところです。

そのような憂いの中にあっても、確実に春は訪れ、満開の桜の中、4月7日の入学式で新入生を迎えて、全校生徒数417名となりました。本科及び専攻科入学の皆さんおめでとうございます。本年度から生活文化科が学級減になり、1学年は各科1学級ずつとなりました。高校の普通教育と各学科の専門教育を両輪として、生徒会活動や家庭クラブ活動、部活動等の様々な教育活動を通して、生きる力の育成に努めたいと考えます。

樹木の年輪が冬の時期に成長が抑えられ濃い茶色を刻むように、人の生き方も順調で楽ばかりしていたのではしっかりとした生き方を支えることができません。人の生き方で冬の時期と言えば、苦しいことつらいことが続く時でしょうか。その時をじっと耐え、日常を大切に積み重ねていくことが、その後の人生でさらに大きな試練にさらされた時、試練もいつか終わる時が来るという希望を体験の中から身に付けていくのだと思います。希望は他者から与えられることもあるでしょうが、自分の内から湧いてくるものでもあるのです。自分の進む方向を見据えて、前を見ながら成長して欲しいと願っています。

さて、今年度から新たに校訓「自立 誠心 共生」を定めました。校訓の3つの価値は生き方の指針となるものです。また、登校時刻を8時20分に統一して、10分間の朝読書を生徒・職員ともに本を開く時間とします。移り変わるものもあり、また変わらずに大切にすることも、これまでに築かれた野田女子高校の校風を大切にしながら、「品格ある女子高」を今年も目指していきます。

今年度も、本校の教育に対する保護者の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

専攻科 宿泊研修

4月18日(月)・19日(火)の1泊2日で、県立南薩少年自然の家に行ってきました。各研修・ワークショップをとおして、自分の目指す看護師像をみつめ、今後の学校生活への決意をあらたにしました。自然の中で過ごし心身ともにリフレッシュし、1・2年生間の交流をより深めることができました。



平成23年1月28日～2月10日に実施された「学校関係者評価委員会による評価」

評価基準 A～十分達成 B～課題はあるがおおむね良い

評価の観点	評価資料等	評価	所見
1 学校は経営方針及び具体的教育目標に準じて適切に運営されているか。	学校案内等委員会資料	A	・わかりやすく設定され運営状況も良好である。
2 自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート	A	・特徴が出にくい項目なので、自由記述でもよいのではないか。
3 自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	・適切に処理されている。
4 地域に開かれ、地域に信頼される学校であったか。	学校行事の参加人数等	A	・学校行事へ地域住民の参加も多く、協力的であった。
5 生徒一人ひとりが伸び伸びと活動し、活気に満ちた学校であったか。	自己評価・外部アンケート集計表・授業参観	B	・生徒の前向きな姿がよく見られる。2割ほどの生徒はニーズにこたえられない感じもする。
6 職員が使命感と責任感を持って生徒の指導に当たったか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	・職員が頑張っている様子が伺われた。 ・職員の使命自覚を高めて欲しい。
7 学校は特色ある活動をPRする方策を行ったか。	学校だより・ホームページ等委員会資料	A	・学校だよりやホームページを充実させた。
8 保護者（PTA）の協力は得られたか。	PTA活動参加者人数委員会資料	B	・各PTA活動の出席率から比較的協力は得られていると感じる。 ・保護者は、学校行事に積極的であって欲しい。
9 関係機関及び近隣の小・中学校との連携は図られたか。	各種事業等の実施記録等	A	・近隣の中学校訪問を実施されたことと出前授業も好評であった。

学校の現時点での課題	課題に対する改善策
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確認（あいさつの励行） ○ 気品ある生徒の育成（スカートの丈等服装を正す） ○ 入学者の定員の確保 ○ 安心・安全な学校づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTAのあいさつ運動の継続と職員と生徒会による新たなあいさつ運動を企画する。 ○ 正しい制服の着方について学年ごとに指導を徹底させる。 ○ 中学校への広報活動を充実させ、本校の特色をアピールする。 ○ 職員が常に危機管理を意識し、事故を未然に防ぐ方策を実践する。

第3回学校関係者評価委員会の委員からの助言等

- 地域に対するボランティア活動等によって、地域への貢献度が大きく感じられます。今後も継続されることを望みます。
- 評議員の意見だけでなく、先生方との意見交換が必要だと思ひます。会合の中で、議論を深めたいと思ひます。
- 高校に行くメリットが資格取得以外にも、もっとあって欲しいです。雰囲気やイメージはいいと思ひるので対外的にもっとアピールして欲しいです。
- PTAのあいさつ運動で生徒の様子を知ることができた。正しい制服の着用ができていない生徒への指導をお願いしたい。

新任者紹介

地歴公民	こやま たくみ 小山 匠
保健体育	うえんじょうつよし 上 城 剛史
家庭	ふくしま えつこ 福島 悦子
家庭	ますだ のぶよ 増田 信代
家庭	にしこばようこ 西木場容子
看護	せとぐちり え 瀬戸口理絵
看護	まつがのゆうこ 松ヶ野祐子
養護教諭	いむた えみ 蘭牟田恵美
事務次長	そのだ さとる 園田 悟
数学	さんたんだしろうじ 三反田照爾
保健体育	いけぶくろ れいこ 池袋 玲子
家庭	むねかた しげこ 宗像 茂子

校訓が制定されました

共生 誠心 自立

共生 生命を尊び、心身ともに健康でたくましく、共に生きることをめざす。

誠心 社会の規則を守り、心豊かな人間としての態度を育てる。

自立 礼節を重んじ、自分の行動に責任をもつとともに、「自ら生きる」力を育てる。

部活動紹介&体験入部

新入生は、8日（金）の部活動紹介を参考にして、12日（火）から4日間、希望の部に体験入部しました。多くの見学者を迎え、いつもの部活により活気があふれていました。

